

第10回昭和の森「親子田んぼ教室」稲刈り編

山下美佐子（東金市）

日 時：2015年9月12日（土）9：30～12時 天気：晴れ

参加者：大人9名 子ども11名 合計20名

見 学：大人2名、幼児2名

指導員：綾 富美子・岡田富子・山田益弘・山下美佐子、
西川章（ビオトープの会）

しばらく雨や曇りが続いて稲刈りが危ぶまれましたが、当日は快晴。稲刈り日和です。5月に植えた稲は金色に実って穂が垂れています。今回はビオトープの会の皆さんと一緒に稲刈りです。まず、準備体操をして、稲の先生 西川さんのお話は、稲刈り後はおだかけをして、しっかり乾燥します。その後、脱穀、粒摺り、精米して、ようやく私たちはおいしくご飯を頂けます とのこと、便利な機械なしの手作業は手間がかかります。そして、鎌の使い方の説明を聴いて、さあ いよいよ稲刈です。稲を刈る人、刈った稲を受け取り束ねる人と、家族でチームを作つて作業を進めます。田んぼへ入つてみると、水が抜けていなくて、ぬかるんでいます。足を一步出すのもやっとです。最初はぎこちなく稲を刈っていた子もだんだんとサクッ、サクッと手際よく刈っていきます。皆さん泥だらけになりながら、時折田んぼの中から飛び出す ニホンアカガエルやハシリグモ、バッタなどにびっくりしたり、喜んだり。稲刈り、おだかけを終えたら、楽しみにしていた田んぼの自然観察です。子どもたちは、螢池や川でゲンジボタルが食べるカワニナやヤゴ、ヨシノボリ、メダカなどを観察。大きなアメリカザリガニを見つけて、「ザリガニはかっこいいけど、田んぼで悪さをするんだよね」と男の子。田んぼの自然をしっかりと理解していく頼もしい言葉。ノシメトンボの雌を捕まえて観察していたら卵を産み始めて、びっくり。参加者は、田んぼの田植え、草取り、稲刈り作業をして、自然の生き物と触れ合い、自然是とても楽しいことに気づいたようでした。



稲刈り



“おだかけ”した田んぼにキジ